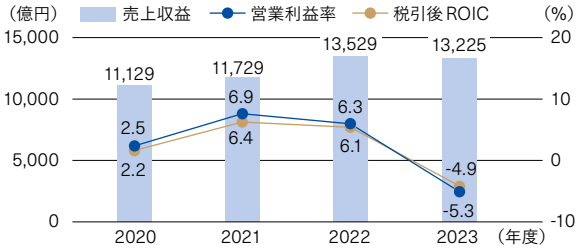
財務・サステナビリティデータハイライト

財務　売上収益、営業利益率、税引後ROIC

売上収益
13,225億円

営業利益率
△5.3%

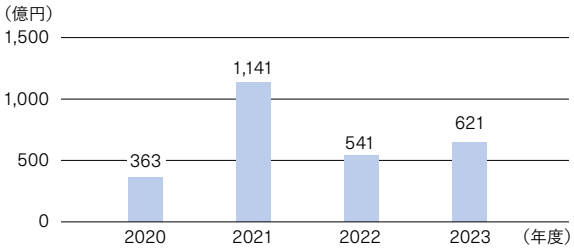
税引後ROIC
△4.9%



2023年度の売上収益は、前年度比2.2%減の13,225億円となりましたが、特別要因1,706億円を除く実質売上収益は同10.4%増の14,932億円でした。営業利益は、特別要因1,743億円が響き、701億円の損失計上となりましたが、実質営業利益は過去最高の同27.2%増の1,042億円を確保しました。営業利益率は△5.3%、ROICも△4.9%に転じましたが、実質営業利益率は同0.9pt改善の7.0%となりました。

財務　営業・投資キャッシュ・フロー

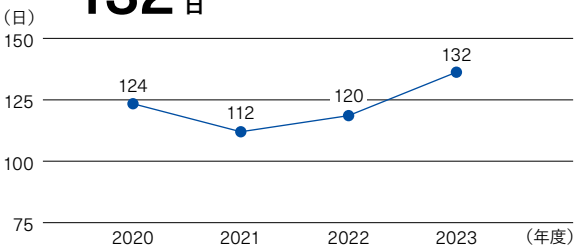
621億円



営業キャッシュ・フローは、前年度比80億円増加の621億円の収入超過となりました。特別要因を除くEBITDAは、同239億円増の1,750億円に達し、稼ぐ力の強化が進んでいますが、営業債権や棚卸資産などの運転資本の負担増が見られました。投資キャッシュ・フローは、同6億円減少の516億円となりました。有形・無形資産などへの支出609億円に加え、121億円の資産売却を行いました。

財務　CCC（キャッシュ・コンバージョン・サイクル）

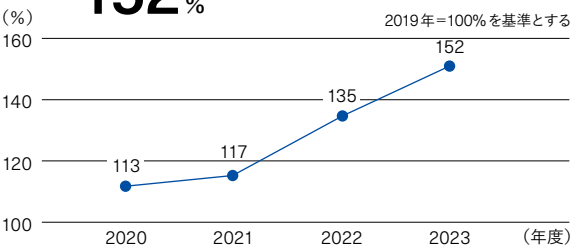
132日



「グループ経営方針2023」の最終年である2025年度にCCCを100日以下とすることを目標に掲げていますが、2023年度は前年度比13日改善の107日となりました。ただし、PW1100G-JMエンジンの影響を中心とした特別要因を除く実質CCCは、同12日悪化の132日となりました。棚卸資産を中心とした運転資本の管理・圧縮を強化することで、2024年度は129日となる見通しです。

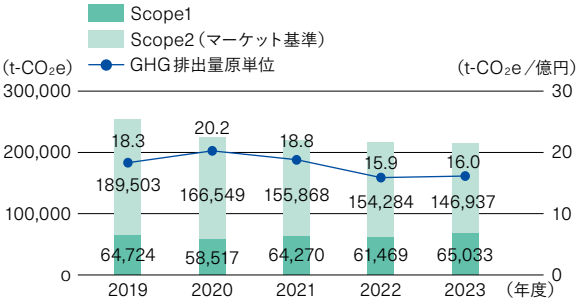
財務　LCB（ライフサイクルビジネス）指数化売上収益の推移

152%



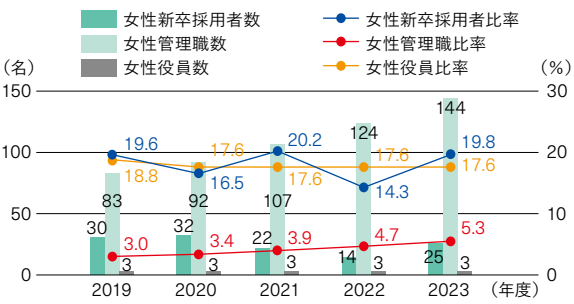
2023年度の航空・宇宙・防衛事業領域を除くLCB売上収益は、前中計「プロジェクトChange」で強化を始めた2019年度対比で+52%となり、順調に拡大しています。2023年度から中核事業から成長、育成事業へ人財およびCFのシフトを本格化させています。中核事業における最適ポートフォリオの構築を進めつつ、IHIグループ独自のライフサイクルビジネスの深化と進化を通じた継続的な成長を目指します。

サステナビリティ　GHG排出量



工場や事業所などにおけるGHG排出量（Scope1, 2）について、2023年4月に経済産業省が設立したGXリーグに参画し、2030年の排出量を2019年度比半減、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けた対応を強化しています。2023年度のGHG排出量原単位は、16.0t-CO_2e／億円※となり、2019年度実績18.3t-CO_2e／億円に対して12.6%の低減となりました。今後もカーボンニュートラルの実現に向けた低減活動を着実に実行します。　※ 特別要因を除いた場合は14.2t-CO_2e／億円

サステナビリティ　女性活躍推進



社会課題の解決に向けてイノベーションを創出し、「グループ経営方針2023」とありたい姿の実現を目指した経営戦略の一環として、DE&Iの推進に取り組んでいます。2023年度の女性役員は3名と過去5年間で変化は見られませんが、女性管理職数は過去5年間で61名増の144名となり、管理職比率は5.3%へ上昇しています。2023年度の女性新卒者数は25名（女性比率19.8%）、うち16名が技術系です。